

東日本大震災義援金

鮫川小児童が 義援金を寄付

鮫川小の児童らは、被災された方々に、自分たちは何ができるかを話し合い、「できることから始めよう」と募金活動を始めました。



集められた義援金は6月23日、鮫川小学校代表委員6人が役場村長室を訪れ、大楽村長に義援金を手渡しました。

氏名 (敬称略)	金額
金澤 吉衛 (前田)	10,000円
鮫川村区長等会	110,000円
鮫川村商工会役員	100,000円
鮫川村商工会青年部	50,000円
鮫川村商工会女性部	50,000円
鮫川村選挙管理委員会	30,000円
関根軌道工業株式会社	1,000,000円
鮫川小学校児童一同	49,948円

お預かりした義援金は、日本赤十字社に送金しています。皆さんのご協力に感謝申し上げます。

高速道路無料化に伴う 被災証明書などの発行について

6月20日から東日本大震災による被災者支援、当面の復旧・復興支援のため、東北地方を発着とする高速道路利用が無料になる制度が行われています。

この制度には、村が発行する「り災証明書」または「被災証明書」が必要となります。

り災証明書は、建物（住宅・蔵・物置など）に損害がある場合に交付されます。建物以外の付帯施設（門扉・塀など）の不動産および家財、家具などで相当の損害がある場合や墓石倒壊などの損害がある場合には被災証明書を交付いたします。

被害状況が分かる写真または書類（被災証明書の場合は口頭説明でも可）と印鑑を持参のうえ、役場総務課に申請してください。被害状況が判断できる場合は、即日交付いたします。

■問い合わせ 村総務課 ☎49-3111



【農産物定期市「手・まめ・市」】

村と連携協定を結んでいる東京農業大学「食と農の博物館」で物産販売会を開催しています。

販売会は、5月と6月に開催され、これまで村へ景観保全活動に訪れた学生たちにお手伝いいただき、博物館を訪れる人やリピーターなどで賑わいました。今後も月1回程度開催して、村の安心安全な農産物をPRしていきます。



東京農業大学「食と農の博物館」で物産販売



【東京都北区王子銀座商店街】

北区王子銀座商店街では、毎年参加している「北区王子銀座商店街秋祭り」をきっかけに6月18日、鮫川村を応援するための販売イベントが行われました。

今後、7月と9月にもイベントが開催される予定です。

がんばろう！ふくしま

鮫川から元気を発信

先月、村内で生産された農産物や大豆・じゅうねんの加工品などの物産販売が、首都圏で行われ、村の農産物を大いにPRしました。販売会では、村と深く関わりのある方々から温かい応援の言葉をいただきました。訪れた人たちは、村の現状と農産物に対する風評について関心を持っていて、商品を手にとり「応援しています」「がんばって」と声をかけていました。



【東京都土建組合目黒支部で鮫川市】

東京鮫川会役員の須藤春夫さんが役員を務める東京土建組合目黒支部主催の「土建まつり」が6月12日、26日、東京都目黒区で開催されました。会場では、村商工会と村商工会青年部も参加し、村の特産品をPRしました。